

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和6年12月27日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691000113
法人名	社会福祉法人 いぶすきケアネット
事業所名	グループホーム さくら
所在地	鹿児島県指宿市山川金生町44番地 (電話) 0993-27-6811
自己評価作成日	令和6年11月19日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和6年12月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然豊かな環境に包まれ、山川地区の集落地に事業所を構えております。指宿市内で生活しておられた入居者様を中心に、地域と密着した生活を送って頂いています。利用者一人ひとりを大切に思う思いやりの心を持ちながら寄り添い尊厳を支えるケアに真摯に取り組んでいます。入居者様がいつまでもお元気でられるように、食事形態もその方に合わせた食事の提供を行なって、みんなで会話を楽しみながら美味しく頂いています。また、食事の前に口腔体操や適度な運動を行ない、日常生活動作の訓練として洗濯物たたみ、新聞折り、袋たたみ等、軽作業を行なう事が日課です。新型コロナウイルスが5類に移行されましたが、引き続き感染防止対策に取り組み、持ち込まない、蔓延させない感染対策を日々継続して健康管理に努めています。また隣接する大重内科との連携で安心した医療の提供が行えます。行事や外出支援が思うように出来ない分、ご家族との面会を推進し、楽しい様子を写真に収める等行い、ご家族との交流を深めています。法人内研修や外部研修に積極的に参加し、スキルアップに努め、より一層のサービスの提供ができるように努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、隣接する協力医療機関の月1回の訪問診療や必要時の往診を含め24時間の医療連携体制が整っており、家族の意向に沿って看取り介護にも取り組んでいる。状況に応じて系列の特別養護老人ホームや老人保健施設等の選択も可能であり家族の安心に繋がっている。
- ・配食サービスの導入により職員の負担軽減を図り、介護に専念できる体制を構築するとともに、利用者にはミキサー食や刻み食等の個々に応じた食事形態で提供している。
- ・地域の港祭りへの参加や敬老会での踊りボランティア受け入れ等、地域との交流が徐々に再開され、今後は本部の協力を得て計画的に外出支援にも取り組む計画である。
- ・管理者は研修受講や資格取得を支援し、職員の質の向上を図るとともに、年2回個別面談を行い賞与や異動への反映等、職員が前向きに業務に取り組めるよう取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I . 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人の基本理念を基に、地域に根差すグループホームとしての理念を作成しています。理念をしっかりと理解する為に見える位置に掲げいつでも確認できるようにしています。	理念をリビングに掲示し、常に確認しながらケアに当たっており、年度初めには理念の確認及びケアの振り返りを行っている。今年度末には理念の文言を見直す計画である。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事の港祭りで、海岸まで出かけ、船舶パレードや、事業所前の通りを、神輿や踊りを間近で見る事が出来ました。敬老会には、地域の方が踊りの披露をしてお祝いして下さいました。	自治会に加入し、回覧板で地域情報を得ている。地域の文化祭は悪天候のため参加を見合わせた。港祭りへの参加や事業所の敬老会に踊りのボランティアを受け入れる等、機会を捉えて地域との交流に取り組んでいる。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議を利用して認知症の理解や支援の方々に発信しています。			
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	対面での会議を開催しています。ホーム内での様子や活動報告、身体拘束や虐待の報告、利用者の近況報告を行なっています。地域の公民館長や民生委員、市の職員、関連施設長、ご家族様からご意見を頂き対応を行なっています。	2ヶ月に1回会議を実施し、ヒヤリハットを含めた事業所の状況報告と意見交換を行っている。行政や地域の委員から情報収集して、それぞれの意見をサービス向上に活かしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	担当の介護保険課職員や保護課職員へ疑問に思った事等電話や直接相談しご指導を頂いています。	市の担当職員とは、運営推進会議での意見交換や報告・相談に出向いて連携を図っており、生活保護担当者とも協力関係を築いている。市の研修は参加して、内容を把握している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	「身体拘束は行わない」を前提にマニュアルに沿ってケアに努めています。3ヶ月毎に委員会を開き話し合い、見直し等行なっています。玄関の施錠は夜間帯を覗いて開錠しております。	指針は本部で作成し、3ヶ月に1回の委員会及び年2回の研修を事業所単独で実施している。不適切な言葉に気づいた時は職員間で注意を促し、定例会でも取り上げている。玄関は施錠せず、利用者が外に出るときは職員が同行し、行動を制限しないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	3ヵ月事に委員会を開催し、勉強会を含め話し合いを行なっています。職員同士で注意が出来る関係を築いています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	制度については引き続き理解を深める必要があります。今後も勉強会への参加や学習などの機会を増やしていきます。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時契約書、重要事項説明書等に伴う確認書類をご本人、ご家族へ説明を行ないます。身体拘束に関する事や、リスクについて十分にご理解、納得を頂いたうえで署名、捺印をお願いしています。感染についての説明も行なっています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見箱の設置を行ない、外部の方やご家族の方々の要望にお応えできるようにしています。面会時や、電話等でご家族へ近況等伝えまたご意見等も伺っています。	利用者には日常会話の中で要望を聞き、希望で洗濯物たたみ等をしている。家族には電話や面会時に要望を聞いて対応に努めており、要望を受けて今後、年1回は写真送付も行う予定である。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回の定例ミーティングを行ない、本部の施設長も参加し各スタッフの意見や懸案事項を求めまた、電話やLINEを使い、個々に意見等言えるようにしています。	月1回ミーティング時に職員の意見を聞く機会を設けており、ケアについての提案や備品購入等の要望が出て、提案等に沿って対応している。年2回個別面談を行う他、個別相談は管理者が受けて対応し、必要時に本部へ報告している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	年2回の人事考課制度にて個別の評価、面談を行ない、移動や賞与等に反映しています。翌月の希望休を聞き、希望の休みが取れるようにしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の力量に合った研修の提供を行ない、参加を促しています。年2回以上の法人外の研修への参加を進めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県GH協議会、さつま半島地区GH協議会、指宿地区GH協議会、CM協議会の研修に参加して同業者との交流に努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	今までの生活環境の把握に努め、要望や困っている事に目を向け耳をかたむけ、サービス前の施設等やケアマネ、ご家族よりも情報収集を行ないホームでの生活が安心して送れるように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居して頂く方のご家族には事前に面談させて頂きグループホームの説明や不安事や困り事等傾聴し、いつでも相談できるよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ケアプラン作成を基に入居者、ご家族が一番必要としている事を支援できるようにしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は理念を基に、利用者の思いを第一に考えます。同じ屋根の下で暮らす中、日々穏やかな生活が送れるような関係性作りを目指しています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の面会を推進し、近くで会話したり、おやつの差し入れで一緒に食べたりする事が出来ています。また一緒に写真を撮るなど楽しい思い出作りをしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や友人、知人の面会を推進しています。対面での面会で楽しく過ごして頂いています。訪問理容も3ヵ月毎にあり理容師との会話を楽しみにされています。	家族・知人との面会や電話による交流及びはがきや年賀状交換を支援している。今後は、家族との外出も提案し、一層家族との関係を深められるよう取り組む予定である。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う利用者や相性を踏まえたテーブル席の配置にしています。難聴の利用者の為に職員も交じり会話を行なっています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や他施設への入居になってもその後の状況確認や方向性の確認に努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中で気づいた事や修正必要な事は、申し送りやカンファレンスを通じて検討、改善しています。常に本人の立場に立って検討するように心がけています。	利用者間で昔の話をしている時に本人の希望等が出ることが多く、聞き逃さないように努めている。困難な場合は、家族の情報や職員の関わりの中で本人の思いを推測して支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	今までの生活してきた環境、経験を尊重して、それを受け入れたうえでグループホームでの生活に生かせるように心掛けています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者のペースで生活して頂けるようにサービスの提供を行っています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	アセスメントを基に、職員間で情報の共有をしています。またご家族や主治医の意見も反映されるように介護計画書の作成に努めています。3ヵ月毎に1回ご家族、主治医、職員、本人に聞き取りを行いモニタリングを作成しています。	担当者会議で本人・家族・ケアマネージャー・管理者が話し合い、ミーティング時の職員の意見を入れて介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に実施し、見直しを1年毎及び状況変化時に行い、現状に合った計画にしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の記録を残し、小さい事でも情報の共有に努めています。日々の記録で気づいた要点が次の計画書に反映できるように努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	出来る事はすぐに実施するようにしています。ご家族やその他機関に協力、必要な事は説明、相談のうえ実施可能かを見極めます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	公民館長、民生委員、回覧板などから地域の情報等伺っています。今後も法人の意向と感染状況を把握しながら地域の催し物等に参加していきます。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は利用者、ご家族に決めて頂いていますが、ほとんどが隣接する病院がかかりつけ医となっています。必要時、往診も受けられています。	契約時にかかりつけ医の希望を確認し、隣接の協力医療機関の訪問診療を受けている利用者が多く、24時間の医療連携体制が築かれている。歯科は訪問診療で対応し、他科受診は家族に職員が同行している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員はいないが、介護職員が気付いた時、かかりつけ医の看護師に伝え、主治医へつなぎ適切な受診が来ています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	主治医や協力病院等の意見を聞き、必要な治療を実施して頂いています。入院やその後の方向性のフォローを行なっています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族に重度化や、終末期の在り方の意向を聞いています。事業所で出来る事の説明も十分に行い、主治医の意見も反映しながらご家族と共に取り組んでいます。	契約時に重度化等の場合の対応について説明している。段階的に家族の意向確認や特別養護老人ホームの説明をしている。重度化等の場合、主治医から家族に病状を説明し家族の意向を確認して、意向に沿って支援に取り組んでいる。看取り介護の事例がある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生に備えたマニュアルを元に行動できるように勉強会を行なっています。感染症については委員会で話し合い実践を行なっています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の防火避難訓練と防災（地震）訓練を昼夜を想定して行なっています。防災設備は年2回、業者に依頼し、点検を行なっています。また、備蓄品、利用者の持ち出し袋も準備し、必要な衣類やオムツ等入れてすぐ持ち出せるようにしています。	年2回昼夜想定地震・火災避難訓練を実施し、消防署の立ち合いを2回受けている。自動通報装置に区長の登録協力がある。非常用の備蓄は、3日分の水・食料の米・インスタント味噌汁・羊羹等、カセットコンロを準備しており、必要時は発電機を本部手配で借りている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	理念を基に自立した生活が出来るようにサービス提供をしています。事業所内で年1回、勉強会も行なっています。個人面談で声掛けについての指導も行っています。	勉強会を実施し、利用者に合わせた言葉遣いに努めている。入室時のノック、入浴・排泄介助時の対応及び申し送り等は、プライバシーの確保や羞恥心に配慮して行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の希望や要望に耳を傾け、自己選択や自己決定が出来るように努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホーム内でのサービス提供時間は設定しているが、希望を大切に、利用者を優先しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	洋服は利用者と一緒に選んでいます。整髪や髭剃りなど日々ご自身で出来るように支援し、必要時、介助も行なっています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好き嫌いを本人やご家族に聞き、出来るだけ、美味しく、楽しく食事の時間を楽しんで頂けるようにしています。以前は、メニューを考え、手作りで提供していたが、人材不足等により、湯煎での食事の提供を行なっています。	食事はごはん以外は配食サービスを利用し、片付けを利用者も一緒にしている。個々に応じた食事形態や行事食も提供し、誕生会は希望のおやつにしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者に合わせた食事形態（ミキサー食、ソフト食、トロミ）を提供しています。毎食時、10時、15時必ずお茶等の提供、あと希望時にお出ししています。食事量、水分量も記録しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事前の口腔体操、食後の口腔ケアを行っています。義歯洗浄、消毒もしています。口腔内の異常時は協力歯科医院へ相談、治療をしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレでの排泄を促しています。排泄チェック表で個々のパターンを把握しはトイレの声掛けを行なっています。食前、食後、寝る前に声掛け、誘導を行っています。夜間は、尿量に合わせたパットやP-トイレ、トイレ希望時はトイレ誘導をしています。	把握した排泄パターンで声掛けし、日中は全員トイレでの排泄を支援している。リハビリパンツとパットの併用が主であり、個々に合わせて適切な排泄用品を選択している。夜間は身体状況等によりポータブルトイレを使用する利用者もいる。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表を活用し、牛乳やオリゴ糖の提供。適度な運動、腹部マッサージをしています。主治医より、内服治療もしています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週2回入浴をしています。個浴で毎回お湯も変えています。湯の温度は本人に確認して頂いています。シャワー浴の方は、足浴もしています。無理強いせず、曜日を変えたりしています。最近では、昔の歌を流して口ずさみながら入られています。（お試し中）	週2回午前中に入浴を支援しており、湯を替えて個浴を楽しんでいる。シャワー浴と足浴を利用したり、同性介助も対応している。入浴を嫌がる利用者は無理強いせず、タイミングを見て声掛けし入浴している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その時の利用者の心理、身体状況に合わせて都度休息をしています。時々様子を伺い、眠れる環境を作ります。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報提供文書で確認をします。薬の把握に努めます。薬確認表で準備、確認を責任をもって行い、服薬時は2人で確認し飲み込むまで見守るようにしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	誕生日前より、誕生日が来ることを声掛けし、好みのケーキ等聞き楽しみを持っていただいています。娯楽のテレビでは、相撲やオリンピック等みんなで視聴し、一喜一憂しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	池田湖へドライブに出かけています。池田湖や開聞岳を眺め、アイスを食べ帰りには桜を眺めています。外気浴は近くを散策したり海を見に行ったりしています。	天候の良い日は車いすの利用者も含めて、海や近所の猫を見に出かけている。年間計画を立てているが、花見ドライブに出かけている程度であり、今後、本部の協力を得て外出支援に取り組む予定である。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理が難しい利用者です。必要な物品についてはご家族が準備しています。ご家族や本人の希望があれば管理する事も可能です。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	年賀状のやり取りを心がけています。ご家族からの電話は必ず取り次いでいます。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	温度計、湿度計で過ごしやすい空間をt持っています。朝はカーテンを開け、陽の光を取り入れています。トイレはカーテンで見えないよう工夫しています。調理場が近くにあり匂いや食器を洗う音があります。季節に合わせた壁飾りで季節感を出しています。	リビングは空気清浄機や加湿器・エアコン及びカーテンでの遮光で適度な室内環境に調節され、窓を開けて換気も十分行っている。貼り絵等で季節の飾りつけを行い、季節を感じられるように取り組んでいる。利用者は好みの場所でくつろいでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う利用者同士が同じテーブルを囲めるようにしています。一人のスペースも十分にあります。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使っていた毛布等やテレビ等持ち込んで頂いています。自室で好きなテレビ番組を見てくつろいでいます。窓もあり、圧迫感がない様にしています。	居室にはベッドやタンス・エアコンが備えてあり、寝具はリースである。必要に応じて加湿器も設置している。本人は自宅で使用していた毛布やテレビ・ラジカセを持ち込んだり、身近に写真やぬいぐるみを置いて安心して過ごせるようにしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全を考え、動線を確保した配置を考えています。介助バーや手すりも設置しています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない